

極早生・早生品種の出穂は、平年より2日早い見込み！

令和7年6月20日
長岡農業普及指導センター

稲作情報 No.6

電話 0258-38-2557

E-mail ngt111440@pref.niigata.lg.jp

【コシヒカリ調査ほの生育状況（6月20日現在、管内24か所平均）】

草丈：	38 cm	（指標値比 103 % = 並）
茎数：	331 本/㎡	（指標値比 87 % = 少ない）
葉数：	8.5 葉	（指標値差 0.3 葉 = 並）
葉色：	40.9	（指標値差 1.5 = やや濃い）

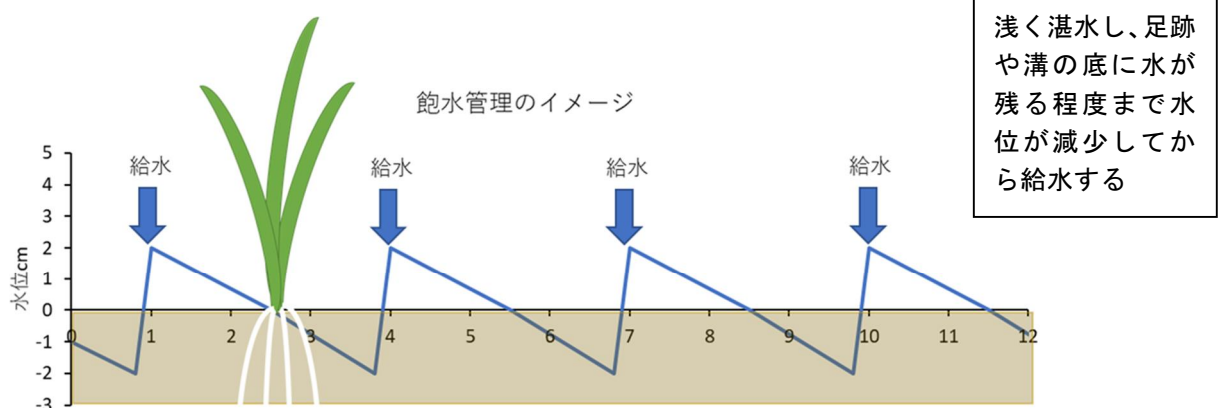
○一部では、茎数過剰のほ場が見られます。出穂の1か月前まで中干しを継続し、過剰生育を防ぎましょう。

※ほ場により茎数の差が大きいため必ず茎数を確認してください。

1 今後の水管理

- (1) 6月21日からの向こう1か月の気温は高い予報のため（6/19新潟地方気象台発表）、茎数が不足しているほ場でも急増する可能性があります。中干しが遅れると生育が過剰となり倒伏が助長されるため、遅れずに中干しを開始しましょう。
- (2) 中干し終了後は、うわ根の発生促進や根の健全化及び地耐力の維持のため、徐々に飽水管理※に移行しましょう。また、確実に幼穂を確認し、適期に穂肥が施用できるよう、表1を参考に早めに準備しましょう。

※理想的な飽水管理（模式図）



2 出穂期予想と穂肥時期のめやす

- (1) 極早生・早生品種の出穂期は、平年より2日程度早い予想です。
1か月予報（6/19新潟地方気象台発表）によると、6月21日からの向こう1か月は気温が高い確率が80%と予想されており、更に出穂期が早まる可能性もあるので、穂肥施用が遅れないように注意しましょう。
- (2) 幼穂形成期や出穂期はほ場間差があり、今後の天候によっても前後します。
各ほ場で幼穂確認を行って出穂期を予想し、穂肥の適期を判断しましょう。

表 1 幼穂形成期及び出穂期の予想と穂肥時期のめやす

(長岡・平場地域) 6月20日現在

品種名	幼穂形成期	出穂期	穂肥時期のめやす (月/日) ()内は出穂前日数	
			1 回目	2 回目
新潟次郎	6月20日	7月13日	6/18～6/20 (25～23)	6/29 (14)
ゆきん子舞	6月27日	7月20日	6/25～6/27 (25～23)	7/ 6 (14)
こしいぶき	6月28日	7月21日	6/28 (23)	7/ 7 (14)
コシヒカリ	7月10日	8月 2日	7/15～7/18 (18～15)	7/23 (10)
ゆきみらい	6月22日	7月15日	6/22 (23)	7/ 2 (13)
わたぼうし	6月25日	7月18日	6/26～6/28 (22～20)	7/ 6～7/ 8 (12～10)
こがねもち	7月 4日	7月27日	7/ 9～7/12 (18～15)	7/17 (10)
五百万石	6月24日	7月17日	6/27 (20)	7/ 5 (12)
たかね錦	6月28日	7月21日	7/ 1～7/ 3 (20～18)	7/ 7～7/11 (14～10)

(注) コシヒカリの出穂期予想(経営普及課)を基にした予想値である。

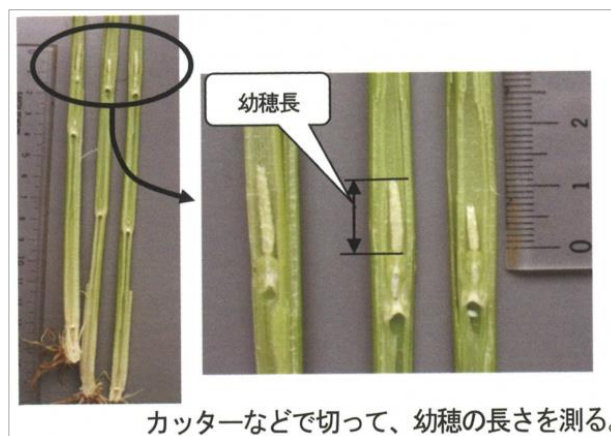
早生品種は5月1～5日稚苗移植を、中生品種は5月10～15日稚苗移植を想定して予想した。

ア 幼穂の長さの測り方

- ① 平均的な生育の稲を3株程度選ぶ。
- ② 1株の中で長い方から2～3本の茎を選び、株元から茎を引き抜き、図のように幼穂長を確認する。

イ 幼穂長から出穂前日数を予測する

出穂前日数	幼穂長(cm)
23日	0.1
20日	0.2
18日	0.5～1.0
12日	4.0～6.0



3 早生品種の穂肥のポイント

(1) 分施(基肥+穂肥)の場合

幼穂形成期(幼穂長0.1cmの時期)を確認し、各品種の適期に施用しましょう。

表 2 穂肥施用量のめやす(合計施用量を2回に分けて施用する)

品種名	合計施用量 (N kg/10a)	留意点
ゆきん子舞	6	1回目3～4kg/10a、2回目2～3kg/10a がめやす。
こしいぶき	2	砂壤土など地力の低いほ場では、1kg/10a程度多めに施用する。
ゆきみらい	5	1回目3kg/10a、2回目2kg/10aがめやす。
わたぼうし	2～3	極端な多肥にならないように注意する。
五百万石	1～2	1回目に重点を置く。

○ 必ず、たん水してから施用する。大豆あと等では生育に応じて減肥する。

○ 特に、ゆきん子舞やゆきみらいでは、1回目の穂肥を幼穂形成期に、遅れることなく施用することが多収のポイントです。

(2) 全量基肥肥料の場合

出穂期の葉色低下が予想される場合は、後期栄養確保のため追肥する。

4 病虫害対策

(1) 斑点米カメムシ類

農道・畦畔の雑草は、イネ科雑草が出穂しないよう約3週間間隔で草刈りしましょう。

必要に応じて後期除草剤を使用し、水田内の除草も徹底しましょう。

(水田内の雑草もカメムシの発生源になるため、斑点米の原因となります。)

(2) いもち病

いもち病の多発生地[※]やいもち病に弱い品種、多肥栽培のほ場では、特に早期発見に努め病斑を見つけ次第防除しましょう。

いまだに補植苗が確認されます。補植苗は、いもち病の伝染源となるため、ただちに除去しましょう。

※いもち病の多発生地＝コシヒカリ BL 普及以前に葉いもち防除で予防粒剤を用いていた地域。

暑い時期になります。農作業中の熱中症に注意しましょう。農作業事故に注意しましょう。

定点調査ほ場生育調査結果(令和7年6月20日現在)

品種	地域名	施肥体系	移植日	草丈		茎数		葉数		葉色	
				本年 (cm)	指標比	本年 (本/m ²)	指標比	本年 (葉)	指標差	本年 (SPAD)	指標差
こしいぶき	長岡東	一発	5/6	39	98%	269	63%	8.7	0.0	43.0	1.0
	長岡西		5/4	35	88%	296	69%	9.2	0.5	45.1	3.1
	越路	一発	5/10	37	93%	389	90%	8.8	0.1	41.7	-0.3
	中部	分施	5/6	39	98%	480	112%	9.1	0.4	43.3	1.3
	北部	分施	5/5	36	90%	365	85%	8.9	0.2	42.6	0.6
	北部	分施	5/6	46	115%	459	107%	9.9	1.2	46.8	4.8
	見附	一発		34	85%	333	77%	9.0	0.3	44.5	2.5
			5/6	38	95%	370	86%	9.1	0.4	43.9	1.9
コシヒカリ	長岡東	分施	5/10	38	109%	315	85%	8.5	0.0	42.4	3.4
	長岡東	分施	5/12	40	114%	296	80%	8.0	-0.5	39.5	0.5
	長岡東	一発	5/10	37	106%	472	128%	8.6	0.1	39.6	0.6
	長岡西	一発	5/10	36	103%	361	98%	8.3	-0.2	45.3	6.3
	長岡西	分施	5/14	35	100%	278	75%	8.1	-0.4	38.6	-0.4
	栃尾	分施	5/15	36	97%	362	121%	8.7	0.9	40.9	2.9
	栃尾	分施	5/12	41	111%	334	111%	9.3	1.5	39.8	1.8
	越路	一発	5/10	37	100%	385	96%	8.8	0.6	39.7	0.7
	越路	分施	5/19	37	100%	237	59%	8.6	0.4	41.9	2.9
	越路	一発	5/13	42	114%	321	80%	8.4	0.2	42.1	3.1
	中部	一発	5/5	38	103%	390	98%	8.7	0.5	41.0	2.0
	中部	分施	5/11	42	114%	387	97%	8.1	-0.1	38.8	-0.2
	北部	一発	5/4	38	103%	246	62%	8.5	0.3	42.4	3.4
	北部	分施	5/11	34	92%	327	82%	7.6	-0.6	41.3	2.3
	北部	一発	5/5	42	114%	404	101%	9.3	1.1	42.2	3.2
	中之島	一発	5/6	41	111%	357	89%	9.4	1.2	42.1	1.1
	中之島	分施	5/5	35	95%	401	100%	8.8	0.6	41.4	0.4
	見附	一発	5/18	31	84%	192	48%	7.2	-1.0	33.3	-7.7
	小国	一発	5/12	41	111%	366	102%	9.2	1.1	41.7	1.7
	小国	一発	5/12	43	116%	301	84%	8.7	0.6	41.1	1.1
	小国	一発	5/20	35	95%	248	69%	8.0	-0.1	40.1	0.1
	小千谷	一発	5/16	39	105%	297	74%	8.8	0.6	41.9	1.9
	小千谷	一発	5/13	33	89%	391	98%	9.0	0.8	45.0	5.0
	川口	一発	5/23	33	89%	274	69%	7.2	-1.0	40.6	0.6
			5/11	38	103%	331	87%	8.5	0.3	40.9	1.5
			5/7	38	106%	336	86%	8.4	0.1	40.7	1.3
			5/14	38	103%	322	89%	8.6	0.5	41.4	1.9

※長岡地域、越路地域、三島中部地域、三島北部地域、中之島地域、見附地域の6地域を平場、残りの4地域を中山間地に分類。

※指標値は、こしいぶき5月5日、コシヒカリ5月10日移植を想定。